

東京におけるツミ繁殖の小史…シンポジウム開催に寄せて

川内 博

かつては全国的に数例しか知られていなかったツミ〔写真〕の繁殖が、日本各地で見られるようになったのは1980年代に入ってからです。

東京都内でも確認されたのを私をはじめで知ったのは、1985（昭和60）年8月号の日本野鳥の会埼玉支部（当時）の機関誌『しらこぼと』の「野鳥情報」でした。報告によると「清瀬市松山の林で、4月9日交尾、6月21日巣発見、4羽の幼鳥と雌雄を観察」（要旨のみ筆者抽出）と記されています。

翌86年7月には、東久留米市南町の神社での営巣が寄せられています（未発表）。

当会で公表したものとしては、『ユリカモメ』1989年2月号に、87年に石神井公園で最初に繁殖したときの詳細な観察報告、また翌3月号には1988年に東久留米市学園町で繁殖した事例が報告されています。その後98年8月号に、小平市喜平町での団地内に営巣した事例が、また、翌9月号には石神井公園での97年までのようすと、98年の繁殖の記録が載せられています。2000年4月号には、立川市羽衣町での繁殖の様子が2ページにわたって報告されています。さらに1996年5月の研究部例会では、町田市成瀬の住宅街での事例が発表されました。



最近の報告としては、2010・11年に大田区内の公園での観察記録が2011年11月号に、そして昨年4月号～9月号まで、東京郊外での観察記録が連載されました。この舞台は北多摩のある町です。

21世紀に入ると、いろいろな場所での営巣が知られるようになり、全体の把握がまだできていない状態です。そのあたりの状況も含めて、4月19日（日）に開催するシンポジウムで発表する予定ですが、未発表の観察例をお持ちの方はぜひ参加して、そのようすを教えてください。

研究部4月例会のご案内 月例探鳥会20年間のデータを見る

日時：2015年4月10日（金）午後6時30分開場、午後7時～9時

場所：日本野鳥の会東京・事務所《10ページの地図・交通参照》

定員：先着15名 参加費：無料

内容：当会では明治神宮・多磨霊園・高尾山など都内7か所、千葉県下3か所、計10か所で長年月1回の定例探鳥会（月例探鳥会）を実施しています。今回、過去20年間のデータが会員の中島徹也さんのご協力で整理され、表・グラフ化されました。今例会では各探鳥地ごとの状況を見ながら、今後の分析・発表方法などを考えていきます。

また、今春の繁殖調査や、4月19日実施の環境を考えるシンポジウム《9ページの室内例会参照》について検討をします。

自宅の窓からも見えたツミの繁殖 吉田 巧

ツミの夫婦が、昭島市の自宅のすぐ近くの小学校校庭の木に巣作りをしました。すぐ下をたくさんの小学生が登校し、遊んでいましたが、警戒することもなく、3羽の若鳥が巣立っていきました。

ツミのシンポジウムを開きます! 9・16ページをご覧ください。



1. ツミの雄



2. 交尾するツミの雌雄



3. 雄から雌へ餌の受け渡し



4. 無事に若鳥が巣立っていきました

18ページのソングポスト
「ラブジョイ彗星の記念写真」の
彗星写真です。(※白い円内部が彗星)

彗星は雪や氷で出来ていますが、写真には緑っぽく写ります。丹沢の山の上まで出かければ彗星の尾まで写ったかもしれません。

(川沢祥三)



写真提供 / 川沢祥三氏